

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1161	(H.24)No.	1161
-----------	------	-----------	------

事務事業名		放課後子ども支援事業			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
教育委員会事務局		文化生涯学習室		杉本一徳	63-7892
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	19年度～	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	1	生きる力をはぐくむ教育の充実
	施策	2	青少年健全育成
	小施策	1	社会参加活動の促進
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分		事業コード	501101
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	教育費	放課後子ども支援事業	
項	社会教育費	(小事業名)	
目	社会教育総務費	放課後子ども支援事業	

3. 事務事業の概要

事業概要	
各小学校区単位での放課後子ども教室の開催	

めざす効果(事業目的)	
すべての子どもを対象として、安全・安心な子どもの活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を推進します。	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)			
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	
主な事業の実績・計画	地域づくり組織等により名張・梅が丘・すずらん台・百合が丘の4小学校区で放課後子ども教室を実施 事業費 776千円 延べ55回実施	地域づくり組織等により名張・梅が丘・すずらん台・百合が丘の4小学校区で放課後子ども教室を継続して実施。 桔梗が丘東・美旗・つつじのいずれかの小学校での実施を検討している。 事業費 1,259千円	補助金・交付金	その他 ()		
			平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)	
直接事業費	776千円	1,259千円	1,259千円	1,259千円	1,259千円	
財源内訳 (千円)	国庫支出金					
	県支出金	590	839	1,061	1,172	1,284
	地方債					
	その他()					
一般財源	(0) 186	420	198	87	-25	
人工数	職員	0.35人	0.20人	0.20人	0.20人	0.20人
	臨時職員等	0.10人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人
概算人件費	(0千円) 2,725千円	1,715千円	1,715千円	1,715千円	1,715千円	
+ 総事業費	(0千円) 3,501千円	2,974千円	2,974千円	2,974千円	2,974千円	

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	回	-	-	-	-	488
	実績		22	88	146	201	
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
体験学習を中心に4校区において月1・2回の教室を実施しているが、放課後子どもプランに基づく子ども達の居場所は、放課後児童クラブの充実により確保されている。	地域や、コーディネーターの負担を増大するようなことのないように配慮しながら、事業拡大に取り組む。 国県の補助枠にとらわれずに子どもの体験活動機会の充実を図る。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
子どもが、地域社会の一員として自覚し、自然活動や文化活動等を体験する場として事業が行われているが、実施における企画や準備にかかる労力が大きい。	社会教育委員 地域の理解と努力により子どもの居場所が適切に確保されているが、将来的課題として、地域・コーディネーターの負担軽減と保護者参加のメニューの取入れを推奨する必要がある。

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢・の場合) (4)はの場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できる	地域への負担を増大しない範囲内で未実施地区における事業化を進めます。
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できる	放課後児童クラブとの共催事業や、ボランティア事業との連携事業等、事業にかかる負担を軽減し、開催できる校区数の拡大を検討したい。
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ある	青蓮寺・百合が丘が丘子地区の地域ビジョンにおいて、放課後子ども教室の実施計画が記載されています。
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映済み	現在実施している名張、川西・梅が丘、青蓮寺・百合が丘、すずらん台の地域づくり組織に事業委託し、実施しています。
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できる	他事業との連携や、共催により、効率性を高める事業展開が可能です。

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む) 継続(事務改善)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項

--